

今回の紹介地区 No.137 岡山県 ^{にいみ}新見市 ^{こうのいえ}蚊家地区

株式会社による耕作放棄地再生利用緊急対策の活用事例

取組概要

対 象 面 積: 1ha(田)

実 施 期 間: 平成22年11月1日～平成23年1月29日

取組のきっかけ: 異業種参入し耕畜連携に取り組んでいた建設業者が、年間の労働力の均衡を図るため、自ら牧草を栽培し畜産農家へ飼料を供給する取組みを具体化。

調 整 経 緯: 取組主体が土地所有者と交渉し、利用権設定による土地集積を行い、実施に至る。

取 組 主 体: (株)ウエストカントリー(栽培作物: イタリアンライグラス)

作 業 内 容: 雑草や樹木の刈払い・処分、整地、土壌改良

株式会社の概要

(株)ウエストカントリーは、母体である建設会社が農業参入のため平成20年に設立した。

飼料作物を1.4ha栽培し、その他に作業受託により稲発酵粗飼料用稲(WCS用稲)の栽培を50ha、牧草管理2ha行っている。

収穫した飼料を畜産農家へ運搬し、その畜産農家の堆肥を耕種農家へ供給するなど耕畜連携を実施し、新見市循環農業の一翼を担っている。



再生作業前



再生作業実施中



再生作業後

今後の予定

引き続き、農作業全般の受託を拡大し面積を確保するとともに、労働力の均衡を図るため、牧草が栽培できるまとまった農地があれば耕作放棄地を解消する取組みも進めていく予定。

問い合わせ先: 新見地域農業再生協議会 0867-72-6133 (新見市 農林課内)